

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第5週の発生動向

トピックス

・ **A型肝炎(全数把握対象)** : 今週2例の届出があり、昨年第52週から5週までの県内累計は8例となった。年齢は10歳代が1例、20歳代が4例、50歳以上が3例で、A型肝炎ワクチン接種歴はいずれも不明もしくはなかった。

全数報告の感染症(5週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症 : 報告なし。2 類感染症 : 結核2例。3 類感染症 : 報告なし。
 4 類感染症 : A型肝炎2例。5 類感染症 : 急性脳炎3例、後天性免疫不全症候群1例、
 侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	30歳代	男	無症状病原体保有者	—
			60歳代	女	無症状病原体保有者	—
4類	A型肝炎	宮崎市	50歳代	女	—	全身倦怠感、発熱、黄疸、肝機能異常 全身掻痒感 等
			60歳代	男	—	全身倦怠感、発熱、黄疸、肝腫大、肝機能異常、意識障害 等
5類	急性脳炎	宮崎市	0~4歳	男	インフルエンザウイルスB	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害
			5~9歳	男	インフルエンザウイルスB	発熱、嘔吐、痙攣、意識障害
		日向	70歳代	女	インフルエンザウイルスA	発熱、嘔吐、項部硬直、意識障害
	後天性免疫不全症候群	都城	30歳代	男	—	多発性・難治性皮下膿瘍
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	宮崎市	0~4歳	女	—	発熱、肺炎
侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	20歳代	女	—	発熱、全身倦怠感、意識障害、項部硬直、髄膜炎、菌血症 等	
60歳代		女	—	肺炎		

定点把握の対象となる5類感染症

・ 定点医療機関からの報告総数は3,873人(定点当たり73.6)で、前週比93%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はインフルエンザと流行性耳下腺炎である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

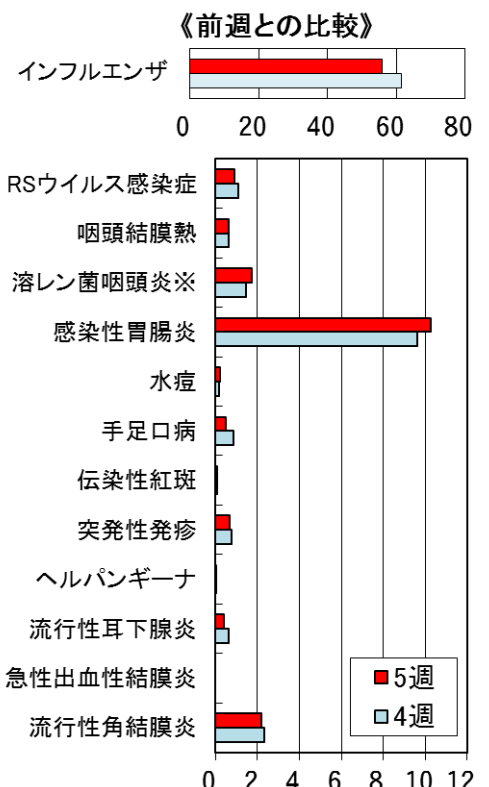
【インフルエンザ】

報告数は3,305人(56.0)で、前週比91%と減少しているが、例年同時期の定点当たり平均値*(42.7)の約1.3倍である。延岡(80.1)、小林(70.8)、都城(68.7)保健所からの報告が多く、年齢別は10歳未満が全体の半数以上を占めている。

【感染性胃腸炎】

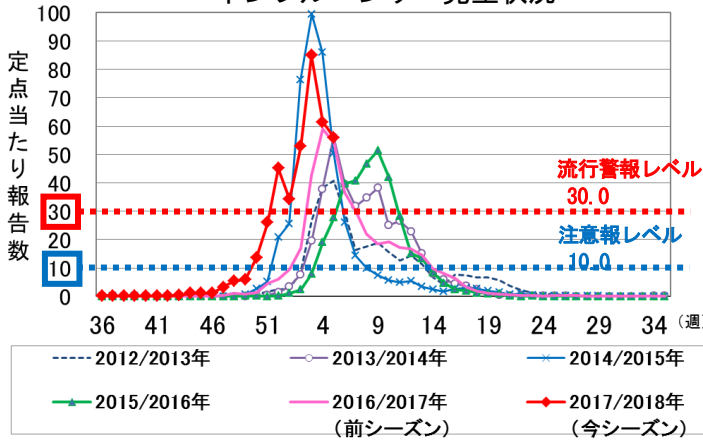
報告数は369人(10.3)で、前週比107%と増加したが、例年同時期の定点当たり平均値*(12.4)の約0.8倍である。小林(27.7)、日南(16.7)、都城(12.0)保健所からの報告が多く、年齢別は1~2歳が全体の約3割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

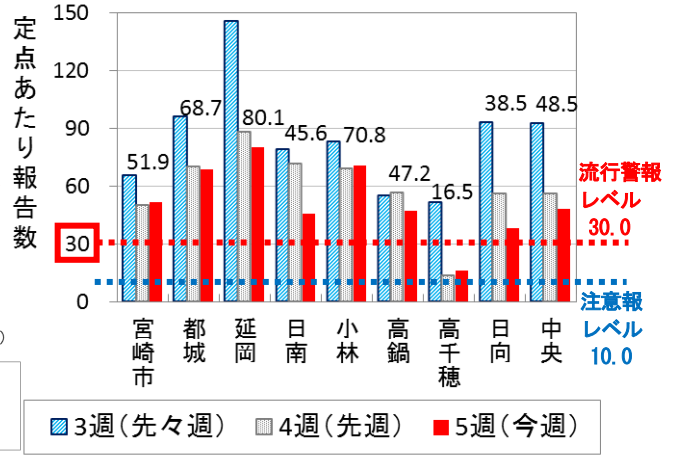


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 定点あたり報告数

インフルエンザ 発生状況



インフルエンザ 保健所別推移 (3週分)

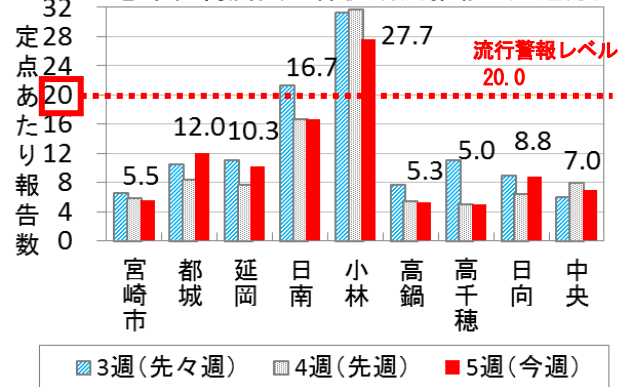


★基幹定点からの報告★
報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	インフルエンザ(51.9)
都城	インフルエンザ(68.7)
延岡	インフルエンザ(80.1)
日南	インフルエンザ(45.6)、流行性耳下腺炎(4.0)
小林	インフルエンザ(70.8)、感染性胃腸炎(27.7)
高鍋	インフルエンザ(47.2)
高千穂	インフルエンザ(16.5)
日向	インフルエンザ(38.5)
中央	インフルエンザ(48.5)

感染性胃腸炎 保健所別推移 (3週分)



※ 流行警報レベル開始基準値 ※

- ・インフルエンザ(30.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)

※ 流行注意報レベル基準値 ※

- ・インフルエンザ(10.0)
- ・流行性耳下腺炎(3.0)

全国 2018 年第 4 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 4 週)

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	304 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	8 例	腸チフス	1 例
	E型肝炎	4 例	A型肝炎	3 例	Q熱	1 例
4類感染症	つつが虫病	3 例	デング熱	1 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	15 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	9 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	24 例	急性脳炎	13 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	19 例	後天性免疫不全症候群	15 例
	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	9 例	侵襲性肺炎球菌感染症	48 例
	水痘 (入院例)	4 例	梅毒	73 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	1 例	百日咳	40 例	風しん	1 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 98%とほぼ横ばいである。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は感染性胃腸炎と流行性角結膜炎である。

インフルエンザの報告数は 259,063 人 (52.4) で前週比 101%とほぼ横ばいである。例年同時期の定点当たり平均値* (29.7) の約 1.8 倍である。福岡県(77.4)、大分県(74.8)からの報告が多く、年齢別では 10 歳未満が全体の約半数を占めている。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2018年 第05週(01月29日～02月04日)

疾病名		第4週	第5週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	3629	3305	831	687	561	228	354	283	33	231	97
	定点あたり	61.51	56.02	51.94	68.70	80.14	45.60	70.80	47.17	16.50	38.50	48.50
RSウイルス 感染症	報告数	39	33	16	4	5	2	2	2			2
	定点あたり	1.08	0.92	1.60	0.67	1.25	0.67	0.67	0.50	0.00	0.00	2.00
咽頭結膜熱	報告数	23	22	9		2	2		6		3	
	定点あたり	0.64	0.61	0.90	0.00	0.50	0.67	0.00	1.50	0.00	0.75	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	53	63	20	14	10	2	1	1		12	3
	定点あたり	1.47	1.75	2.00	2.33	2.50	0.67	0.33	0.25	0.00	3.00	3.00
感染性胃腸炎	報告数	346	369	55	72	41	50	83	21	5	35	7
	定点あたり	9.61	10.25	5.50	12.00	10.25	16.67	27.67	5.25	5.00	8.75	7.00
水痘	報告数	6	7		2				3		2	
	定点あたり	0.17	0.19	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.50	0.00
手足口病	報告数	31	18	12	1	1			4			
	定点あたり	0.86	0.50	1.20	0.17	0.25	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	3	3	2		1						
	定点あたり	0.08	0.08	0.20	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	27	25	5	1	4	4	3	2		5	1
	定点あたり	0.75	0.69	0.50	0.17	1.00	1.33	1.00	0.50	0.00	1.25	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	1	1				1					
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	22	14		1	1	12					
	定点あたり	0.61	0.39	0.00	0.17	0.25	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	13	12		1						
	定点あたり	2.33	2.17	4.00	0.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	1										
	定点あたり	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～5週)

2類感染症	結核	19例(2)			
4類感染症	A型肝炎	6例(2)	つつが虫病	1例	
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例	急性脳炎	3例(3)	後天性免疫不全症候群
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例(1)	侵襲性肺炎球菌感染症	10例(2)	播種性クリプトコックス症
	百日咳	4例			1例(1)

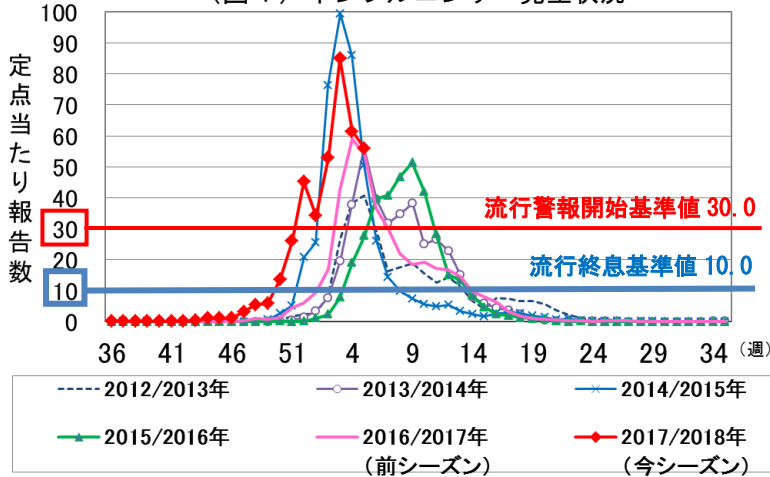
()内は今週届出分、再掲

インフルエンザ情報 《県内第5週、全国第4週（再掲）》

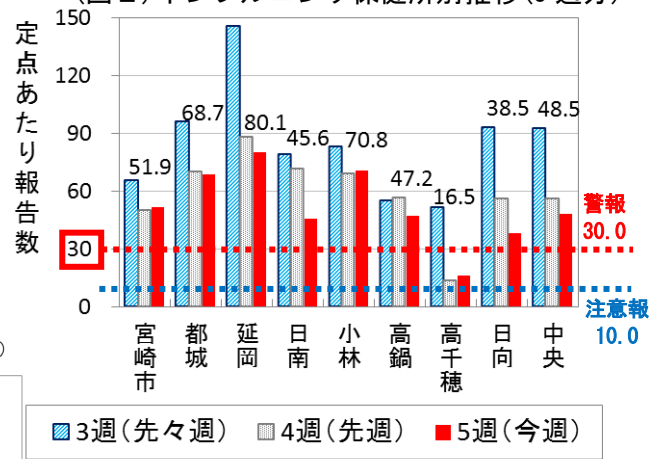
□ 県内第5週インフルエンザ発生動向

第5週（2018年1月29日～2月4日）は3,305人（56.0）の報告があった。前週の約0.9倍と減少したが、例年同時期の定点あたり平均値*（42.7）の約1.3倍である（図1）。保健所別推移を図2に示す。年齢群別では5歳未満が全体の19%、5-9歳が36%、10-14歳が21%、15-19歳が5%、20-59歳が14%、60歳以上が5%を占めている（図3）。

（図1）インフルエンザ発生状況



（図2）インフルエンザ保健所別推移（3週分）

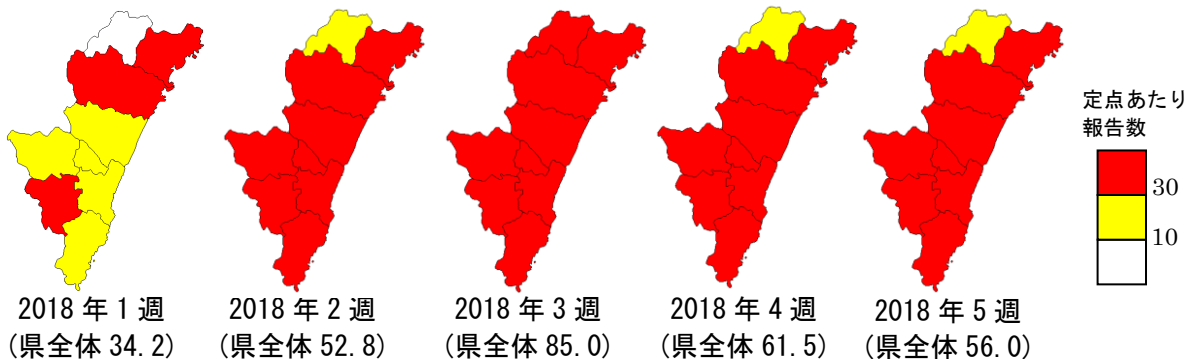


（図3）年齢群別割合の推移（2018年第1週～第5週）

1週 2,016人	23%	22%	11%	4%	31%	9%
2週 3,117人	24%	25%	15%	5%	23%	8%
3週 5,013人	21%	34%	19%	4%	15%	7%
4週 3,629人	20%	34%	20%	5%	14%	7%
5週 3,305人	19%	36%	21%	5%	14%	5%

□ 5歳未満 □ 5～9歳 ■ 10～14歳 ■ 15～19歳 □ 20～59歳 ■ 60歳以上

保健所別インフルエンザ流行レベルマップ 2018年第1週～第5週



□ 全国第4週インフルエンザ発生動向

第4週（2018年1月22日～1月28日）は259,063人（52.4）で前週とほぼ横ばいである。福岡県（77.4）、大分県（74.8）からの報告が多い。年齢群別では5歳未満が全体の16%、5-9歳が35%、10-14歳が20%、15-19歳が5%、20-59歳が17%、60歳以上が7%である。